

第16号 グリーンス川越

編集人
川口けいすけ

9月11日は衆議院選挙の投票日

投票時間 7:00 ~ 20:00



どこに（誰に）投票しようか悩んでいる方へ



争点は！・・・ズバリ！「政権交代」

当然ですが、争点は郵政民営化でも、抵抗勢力vs刺客でもありません。60年間にわたる自民党政権を今後も続けていくのかどうかを判断する事が、この選挙の意味となります。

本来、国政選挙（特に衆議院選挙）はいつでも「どの党に日本の舵取りを任せるか」を選択するためのもの、と言っても言い過ぎではなく、政権交代の視点があるのは当たり前なのです。今までそれがなかった日本が異常というべきでしょう。

目先の事や一つの政策だけで判断せずに、大きな視点で考え、判断しましょう。

* 残念ながら小選挙区制となり、二者択一です。皆さんはどちらを選びますか？

- ★ 今の日本があるのは自民党のおかげ。これからも期待したい。徳川幕府は300年続いたのだから、まだまだ自民党に頑張ってもらいたい。と思う人は自民党（自民党候補者）へ。
- ★ 民主主義国家でこんなに長い間同じ政党が政権を取っている国はない。どんな党も60年も権力を握っていれば腐敗も進む。政権交代が必要だ。と思う人は民主党（民主党候補者）へ。



「やってはいけない！」6つの事

1. 絶対に棄権してはいけない！投票しない人に公共サービスに注文をつける資格はない。
 2. 白票を投じてはいけない！現状では白票の効果は限りなく少ない。何とかして有効票を。
 3. 義理や付き合いで投票してはいけない！握手をしたから等もダメ。
 4. 地元ばかり見ている国会議員を評価してはいけない！そしてそれを求めてはいけない。
- 一言いわせて 私には日本の大きな問題点の一つはこの意識にあると考えている。今の国会議員の多くは国を見ずに地元の県の方を見ている。同様に、県議会議員は市を、市議会議員は地域を見ているように思う。そして有権者はそれを望み、それこそを評価している。もちろん地元のことを一番良く知っているのだから問題点があれば訴えていくべきだが、それが全体をないがしろにして地元のみを考える、ということになってはならないと私は思う。
5. 「改革」という言葉に誤魔化されてはいけない！何をどう改革するかが重要。
 6. 政治をあきらめてはいけない！あきらめても今より悪くなるだけ、良くはならない。



どうしても郵政民営化が気になる方へ ～ たまにしか報道されない事実 ～

郵政民営化がなぜ必要かといえば、郵便貯金のお金の多くが財政投融資（特殊法人等への貸付のこと）や国債購入に流れている問題を何とかしなければいけないからです。問題は、民営化でこの流れが止まるからです。2001年に、今までの大蔵省の資金運用部から財政投融資にお金が出る形から、制度が変わり、郵便貯金は自らの判断で投資できるようになりました。しかし結局、国債購入という形で運用しており、国を通じて財政投融資に流れる構図は変わっていません。この結果、小泉政権になってから国の借金は百兆円以上増えています。

非常に単純化すると民営化すれば、郵便貯金が銀行と同じになるということになりますが、近年、銀行の国債保有残高は5年で約百兆円増えている一方、貸出残高は110兆円から40兆円に減っています。つまり、民営化しても国債や特殊法人へのお金の流れが止まるわけではないということになります。むしろ、事業を拡大することで民業を圧迫する恐れがあります。

一番大事なことは、特殊法人を整理し、国債の発行を止めることにあります。

本当に改革するなら「出口」（財投・国債の使い道）を変えなければいけません。そして、「入り口」（郵貯・簡保など、財投・国債の資金源）について、民営化がだめというわけではありませんが、民営化するかどうかの問題の本質ではありません。改革の本丸は出口改革！